

水土里レポート 投稿様式

平成27年5月12日（火）兵庫県の水土里ネット加古川西部（加古川西部土地改良区）の役員・職員9名が、水土里ネット福山（福山市土地改良区）へ視察研修に来てくださいました。

組合員数や受益面積は水土里ネット福山が大きいものの、水土里ネット加古川西部は、糀屋ダムや複数の頭首工の管理をしておられる大きな規模の土地改良区で、視察研修に来ていただいても参考になるのかと少し不安もありました。

当日は、福山市草戸町にある水土里ネット福山の会館事務所で水土里ネット福山の沿革や資料の説明をし、その後、施設を見学することとなりました。

資料は、視察研修先に選んでいただくきっかけとなった「水土里レポート」の中で「七社用水」についてのレポートを準備し、七社頭首工の概要を説明しました。また、経常費賦課金の徴収について簡単に説明させていただきその後約1時間にわたり施設の管理や用水調整の難しさ、経常費賦課金徴収の問題点など「土地改良区」ならではの課題について、大変貴重な意見交換をすることができました。

その後、事務所から約10キロメートル、七社用水を溯りながら、除塵機やサイフォンを見ていただき七社頭首工へ案内しました。



七社頭首工は、一級河川芦田川の河口より上流約15キロメートルに位置し三川ダムの放流水を取水し、福山市の市街地に配水しています。

受益地の主な農作物は水稻ですが、福山市の特産物である「くわい」の収穫のため、10月から12月の非かんがい期にも取水することが特徴です。

当日は、あいにくの雨でしたが、芦田川の川幅一杯の堰や雨で水量が増え、転倒堰を勢いよく越流する様子を間近で見ていただくことができました。

水土里ネット福山は、平成25年度から21世紀土地改良区創造運動の一環として、水土里レポートに参加しております。今回、水土里レポートをきっかけに、他の土地改良区と交流させていただく機会に恵まれました。

このような活動を通じて「水土里ネット」の輪が広がっていくことを願っております。

